

第 33 回日本母乳育児シンポジウム

会場開催

日時 8 月 30 日(土)～31 日(日)

会場 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)

テーマ 赤ちゃんの力・お母さんの力を引きだす
母乳育児—今の時代に

プログラム ワークショップ「NICU における母乳育児を考える」國安ゆかり(助, 国立病院機構岡山医療センター), 古田見子(看, 岐阜県総合医療センター), 村瀬正彦(小, 昭和医科大学横浜市北部病院こどもセンター), 樋口昌子(助, 東京都立墨東病院)／特別講演「母乳が整える子の腸内細菌叢—脳腸相関との関係」永岡謙太郎(東京農工大学大学院農学研究動物生命科学部門)／シンポジウム 1「できることから始めよう 10 カ条—どんな時でも母乳育児ができるように」／2「時代とともに母乳育児—変えてはいけないもの・変わっていくもの」／乳頭ケア実践研修(定員 50 名)／ほか

参加費 会員 1 万 1000 円, 未会員 1 万 3200 円, 学生・母親・父親など一般(医療者, 専門家, 有資格者以外)3300 円, 乳頭ケア実践研修 2200 円, 懇親会費 6600 円

参加申込方法 下記 URL の peatix より, または FAX, 郵送, E-mail で下記事務局に申込書を送る

HP <https://33thsympo.peatix.com>

問い合わせ先 一般社団法人日本母乳の会事務局

〒165-0026 東京都中野区新井 3-9-4

☎ 03-5318-7383 FAX 03-5318-7384

✉ sympo@jbabf.or.jp

HP https://jbabf.smoosy.atlas.jp/ja/next_symposium33

日本フォレンジック看護学会 第 12 回学術集会 in 滋賀

会場開催 WEB 開催

日時 現地会場+ライブ配信 9 月 6 日(土)～7 日(日)／オンデマンド配信 9 月 16 日(火)～10 月 19 日(日)

会場 医療研修施設ニプロ iMEP(アイメップ)(滋賀県草津市)

テーマ 社会から求められるフォレンジック看護学—今, そのケアの意味を考えよう

プログラム 大会長講演「社会から求められるフォレンジック看護学を目指して」立岡弓子(滋賀医科大学医学部実践看護学講座母性看護学・助産学教授)／教育講演 I 「地域の安全・安心のために」一杉正仁(滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授)／シンポジウム I 「小児突然死に対する家族対応—フォレンジック看護の役割」* 高島光平(滋賀医科大学小児科学講座助教), 尾島由美(済生会滋賀県病院, 小児救急看護認定看護師), 木村里美(済生会滋賀県病院副看護部長)／教育講演 II 「性犯罪被害者の現状と切れ目のない支援」* 佐伯美美(滋賀県警察本部犯罪被害者等支援室室長), 喜多伸幸(滋賀医科大学実践看護学講座クリティカル教授), 西川貴子(医療法人真心会南草津野村病院看護部長), 松村裕美(おうみ犯罪被害者支援センター支援局長)／III 「大規模災害における人命救助と看護師の役割」* 塩見直人(滋賀医科大学救急集中治療医学講座教授), 佐伯ふみ子(滋賀医科大学医学部附属病院副看護師長, DMAT 隊員)／IV 「矯正医療において看護職に期待すること」武田義之(法務省矯正局近畿矯正管区専門職)／シンポジウム II 「矯正医療における健康教育の役割」* 望月明見(大手前大学国際看護学部准教授), 中村磨美(滋賀医科大学社会医学講座法医学部門准教授), 辻本哲士(滋賀県精神保健福祉センター所長)
※ * マークは CloCMiP® レベル III 認証申請の選択研修に該当

参加登録期間 [第 1 期] 8 月 6 日(水)まで, [第 2 期] 8 月 7 日(木)～10 月 19 日(日)

登録方法 下記 Web サイトの「事前登録・申込はこちら」より

HP <https://12thjafn.wixsite.com/presentation/participation>

参加費 [第 1 期] 会員 7000 円, 非会員 9000 円, 学生(大学院生除く)1000 円, [第 2 期] 会員 8000 円, 非会員 1 万円, 学生(大学院生除く)1000 円, 懇親会 1 万円

※学生は在籍証明書(学生証)の写しを事前参加登録システムよりアップロード

問い合わせ先 学術集会事務局

滋賀医科大学医学部実践看護学講座

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

✉ 12thjafn@belle.shiga-med.ac.jp

HP <https://12thjafn.wixsite.com/presentation>

第21回日本周産期メンタルヘルス学会 学術集会

会場開催 WEB開催

日時 現地会場 9月26日(金)～27日(土)／オンライン
デマンド配信 10月6日(月)～31日(金)(予定)

会場 一橋講堂(東京都千代田区)

テーマ 生きる力を次世代につなぐ周産期メンタルヘルス

プログラム 会長講演 春名めぐみ／特別講演1「助産におけるメンタルヘルス(仮)」井村真澄／シンポジウム1「家族支援」池田真理, 川島広江, 平野翔大, 柳村直子／セミナー 北村俊則／研修・教育 藤平和吉(発達障害), 福井直樹(薬物療法), 溝口史剛(小児虐待予防)／特別講演 笠井清登／シンポジウム2「大学病院における周産期リエゾンの課題と展望(仮)」齊藤萌子, 熊倉陽介, 鈴木研資, 矢澤博美／支援者支援ワークショップ／ほか

参加登録・支払期間 [事前登録] 8月31日(日)まで,
[通常登録] 9月1日(月)～10月26日(日)

登録方法 下記 Web サイトの「参加登録フォーム
はこちら」より

HP <https://procomu.jp/pmh2025/registration.html>

参加費 [事前] 会員1万円, 非会員1万2000円,
学生1000円, [通常] 会員1万2000円, 非会員
1万3000円, 学生2000円, 懇親会3000円, 支援
者支援ワークショップ(定員50名, 先着順)1500円

問い合わせ先 運営事務局

株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル
東館9階

☎ 03-5520-8824

✉ pmh21@procom-i.co.jp

※問い合わせには件名に「第21回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会」と記載

HP <https://procomu.jp/pmh2025/index.html>

第39回日本母乳哺育学会学術集会

会場開催

日時 9月27日(土)～28日(日)

会場 つくば国際会議場(茨城県つくば市)

テーマ つながる支援 広がる未来—母乳育児を全
方位から見つめる

プログラム 特別講演「周産期の親子の睡眠の謎に
迫る(仮)」柳沢正史(筑波大学国際統合睡眠医科学
研究機構機構長)／教育講演「社会的要因・制
度的要因と母乳育児—育児方法の希望を叶えられ
る社会とは」松島みどり(筑波大学人文社会系准教
授)／シンポジウム1「母乳育児を支える社会・医
療制度とは?—日本の現状から見つめ直す」名西
恵子(東京大学大学院医学系研究科国際交流室兼
国際保健学専攻講師), 石渡勇(日本産婦人科医会
会長), 国光あやの(衆議院議員, 医師, 医学博士)
／2「母乳育児を支える医療—多職種連携と地域
の実践」野口里枝(茨城西南医療センター病院産
婦人科科長), 中村由里(筑波大学医学医療系小児
科学病院助教), 小西久美(筑波大学附属病院薬剤
部, 授乳婦専門薬剤師, 授乳婦薬物療法認定薬剤
師)／3「母乳育児を支える地域の資源—切れ目の
ない支援を目指して」谷口純子(社会医療法人若
竹会つくばセントラル病院 B2 病棟主任, 助産師),
吉澤志麻(訪問看護ステーションベビーノ, 看護師
／IBCLC), 井上美穂子(ラ・レーチェ・リーグ日
本リーダー)／教育委員会主催勉強会「周産期から
始まるこどもの養育環境について」基調講演「妊娠
中の母親のメンタルヘルスとその後の児への影響」
毛利彰宏(藤田医科大学大学院保健学研究科教授)
／シンポジウム「周産期の養育環境を見直す」斎
藤誠(筑波大学, 茨城県立中央病院小児科), 秋葉
和敬(秋葉病院理事長), 滝元宏(東京都立荏原病
院小児科)

問い合わせ先

・主催事務局 社会医療法人若竹会つくばセント
ラル病院地域連携室内

〒300-1211 茨城県牛久市柏田1589-3

☎ 029-874-8592(直通)

・運営事務局 有限会社ビジョンブリッジ

〒162-0833 東京都新宿区笹筒町43 新神楽坂
ビル2階

☎ 03-5229-6881

✉ jsbr@visionbridge.jp

HP <https://supportoffice.jp/jsbr39/index.html>

掲載している情報は2025年6月30日時点のものです。
最新の情報は主催元にご確認ください。